



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校
令和元(2019)年冬休み号
校長 大越 敏孝



こころに残る 冬休みに



後期前半が終わり、いよいよ冬休みが始まります。今年は、平成から令和へと時代が変わる大きな節目の年でもありました。ニュースで年末恒例の「今年の漢字」には「令」が選ばれたと報道されていました。今年一年のさまざまな出来事を理由にしてこの漢字を投票した人が多かったようですが、共通しているのは新しい元号の「令」和に明るい時代になってほしいという思いだったようです。みなさんの「今年の漢字」は何でしょうか。一年を振り返って考えてみるのもよいかもしれません。

令和初めての年末年始、楽しい計画をされているご家庭も多いことでしょう。家族や親しい人とゆっくり過ごしたり、様々な地域の行事に参加したりと、年末年始のいつもと違う景色の中で子どもたちもさまざまな経験をすることと思います。学校ではできない体験や学びがたくさんできるとよいですね。13日間を有意義に過ごし、すてきな思い出に残る冬休みにしてください。



* 5年生と推進協の皆さんで正門横の花壇に色とりどりの花を植えてくれました。寒さに負けずきれいに咲いています。推進協の皆さん、ご支援ご協力ありがとうございました。

『室田学習発表会』(12月6日)



今年度から「室田学習発表会」として行われた発表会。1・2年生は生活科で、3～6年生は総合的な学習の時間で今まで学んできたことを児童が発表しました。調べ・考え・わかったことをポスターにまとめたり、紙芝居や劇にしたり、模型を使ったりと工夫を凝らして表現していました。それぞれの児童が他の学年の児童に説明し伝え合うことで、学びの交流ができました。

当日は、たくさんの保護者や地域の皆さんにご来校いただきました。熱心に児童の話に耳を傾けていただき、「児童の発表の内容に感心しました」というお褒めの言葉もいただきました。児童の励みになりました。ありがとうございました。また、保育園や幼稚園のお子さんも見学に訪れ、大きく成長した1、2年生の発表にふれることで、小学校の雰囲気を感じているようでした。



6年生 『石井正忠(前鹿島アントラーズ監督)さんの講演会』(11月29日)



ご縁があってサッカーJリーグ鹿島アントラーズの前監督の石井正忠さんをお招きし、生い立ちからサッカーとの出会い、選手・監督時代のお話をさせていただきました。

授業では、華やかに見えるJリーグの表側だけでなく、試合で勝利するために心がけてきたことや努力してきたことなど、プロの世界の厳しさにもふれられました。チームの移籍や選手を引退しなければならなくなった試合でのけが、契約解除となり年俸0円と記された通知書など、辛かった思い出もお話しになりながらも、自分の好きなサッカーのことをいつも考えていられることの幸

せ、仕事としてできることのやりがいや喜び、チャレンジすることの大切さを6年生に優しく語りかけてくださいました。

監督としても数々のタイトルを獲得し、2016年のクラブワールドカップで日本勢初の準優勝に導いた石井さんに、「より高い目標を立てて、希望や勇気を持ってチャレンジすること。」「困難があってもくじけずに努力してやり抜くこと」の大切さを教えていただきました。卒業まであと3ヵ月の6年生。将来の夢、生き方を考えることにつながる授業となりました。

